

レジメン登録フォーマット

申請年月日	平成29年10月2日	使用開始日	
登録診療科	消化器内科・外科	申請医師	檜原啓之 化学療法委員会承認# 平成 29年 10月
レジメン名	アブラキサン週1回投与(3投1休)(胃がん)		
疾患名	胃がん	適応の備考	
適応分類	進行再発		
1コース日数	28 日間	総コース数	有効な限り コース催吐性リスク軽度
抗がん剤投与量・投与日	アブラキサン100mg/m <sup>2</sup> day1、8、15		
治療スケジュール・投与日程(投与日は●)	(day)		

投与順	ルート・方法	薬剤名	投与量	投与時間	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28
1	主ルート	生食50mL	1 本 / body	30 分	●							●							●													
	点滴静注	デキサート注射液6.6mg/2ml	1 本 / body		●							●							●													
2	主ルート	生食100mL	1 本 / body		●							●							●													
	点滴静注	アブラキサン	100 mg / m <sup>2</sup>	30 分	●							●							●													
3	主ルート	生食50mL	1 本 / body	5 分	●							●							●													
	点滴静注																															
			/																													
			/																													
			/																													
			/																													
			/																													
			/																													

※並行して投与する場合は、コメントを入力する。(例:Rp2とRp3を同時に投与開始する。)

【投与上の注意】

- アブラキサン: インラインフィルターは使用しないこと。血液製剤の同意書と伝票が必要。
- アブラキサン: アブラキサンの後は生食50mLでフラッシュする。
- アブラキサン: 他剤との配合、または同じ静注ラインで同時注入しない。
- アブラキサン: 生食で溶解する。調製した懸濁液は必要量をバイアルから抜き取り、事前に用意した空の点滴バッグに入れる。(懸濁液を生食で希釈しない)
- day1のデキサート注は、3.3mgでもよい。